

頭張れ店長

賃上げはいかが

政府が会社側に賃上げを要請したこともあって、大手の金融や製造業、建設業などは一定の賃上げを勝ち取った今年の春闘。ホール企業でも一部に労働組合が結成されて会社側と賃上げ交渉を行いました。多くのホール企業では賃上げは経営者の考え次第。果たして今年の賃上げはどうだったのか、各地の店長さんに聞きました。

今年は定期昇給だけだ

「うちの会社は労働組合がないので、賃上げは会社が独自に決めています。定期昇給は勤続年数に応じて何等級何号俸という形で毎年1000〜3000円昇給します。が、いわゆるベースアップは3〜4年ごとに行われます。昨年は消費税率が引き上げられたので一律3%アップしたため、今年は定期昇給だけでした。他業種に比べて給与水準は比較的高いので、スタッフも不満の声はありません」
(関東・A店長)

社員の定期昇給と同じように、アルバイトも勤続年数に応じて時給がアップすることになったそうです。

現金嬉しい業績ボーナス

「ここ何年も賃上げはありませんが、昇格すれば基本給が上がります。手当も付きます。そして当社独自の制度で、業績に応じた第3のボーナスがあります。その年に出た利益に比例する形で年度末に社員に支給されるのです。金額は給料の0.5か月分程度ですが、現金なのでそっくり自分のお小遣いにする事ができるので、現金支給は世帯持ちに好評です」(中部・B店長)

第3のボーナスのことを家族に話していない人も多いそうです。

社長の機嫌思わしくなく

「うちはワンマン会社なので、賃上げは社長の気分次第という傾向があります。先輩から聞いた話で

は、売上も利益も右肩上がりだった頃は、いきなり2〜3万円も賃上げた年があったそうです。さすがに今はそういうことはありませんが、昨年、社長が久しぶりに賃上げしようとしたときは、経理部長の発案で、役員に応じて10〜20万円の一時金が支給されました。今年は社長の機嫌が悪く思わしくないので、賃上げは見送られました」(関東・C店長)

いちど賃上げをすると、業績が悪くなったからといって引き下げるのは難しい。そこで、賃上げの代わりに一時金を支給したというのです。

賃上げより店長狙いで

「昨年も今年も賃上げは基本給の1%程度でした。一昨年末ではデフレが続いていたので賃上げはありませんでした。うちの会社の給与体系は独特で、店長になると給料がぐんとアップします。もっと給料がほしかったら、店長を目指して頑張れという感じです。そのことをスタッフも知っているの、部

店長からの投稿

今年も新入

社員が私の店に配属されました。

店長になって10年もすると、3日も働きぶり

を見ると、これからどの程度伸びるのか、当人の長所

や欠点はどこにあるのかわかります。もちろん本人には言

いませんが、入社2〜3年の若手を教育係に付けて、何を重点的に

指導したらよいか指示を出

します。昨年配属された新人

は物怖じすることなく、なかなか

の逸材です。将来は少なくとも

店長になると思っていますが、

できる奴に限って今の仕事が物足

りなくなって転職する可能性があります。そのため入社2年目にしては少々ハード

ルの高い仕事をやらせて厳しく鍛えています。会社を担う人材を育成するのも店長

の仕事なので、楽しんでやっています。(関東・店長)

3日働き見れば 新人は把握できる 重点を決め指導

下に飲食をおごるのが当たり前で、それが風通しのよいコミュニケーションにもなっているのですが、その金額がバカになりません。また、店長になると信賞必罰で、店の業績が下がれば1年で降格になるケースもあって、店長の座は決して安泰ではありません」(関東・D店長)

店長から降格させられた人も頑張った例が返り咲いた例があったといえます。敗者復活戦があれば、めげずに頑張れそうです。

昨年3%、今年は見送り

「昨年はアベノミクスに賛同した社長の指示で3%の賃上げがありました。従業員の給料は増えれば消費が伸びて、景気がよくなるという理屈です。確かに大企業では大幅賃上げをしたり、株価が上がったりと景気の良い話を聞きますが、中小企業では賃上げもないところが多く、また大半の人は株も持っていません。そういう人がうちの店の客層なので、景気がよくなったという実感はありません。それで今年は賃上げが見送られました。店長クラスになると会社の内情がわかるので、いたし方ないと思います」(東北・E店長)

経済学では、一部の人のみで豊かになれば、そのうち貧しい人にも恩恵が回ってくるという「トリクルダウン(滴り落ちる)理論」があります。しかし、今の日本では格差が広がる一方で、ホール業界も厳しい時代を迎えています。

1年おき、今年も2%

「うちの会社の賃上げは1年おき

です。今年は平均で2%アップしました。うちの会社というよりホール業界の傾向ですが、主任やマネジャーといった役職に就くと昇給が大きいので、あまり賃上げには関心がないようです。昔は店長になると月給が100万円を超えたという話を聞いたことがあります。店長の給料は恵まれていると思います」(関東・F店長)

金一封の魅力が動機づけ

「うちは社長の方針で、少額でも毎年賃上げをしています。500円でも1000円でも給料が上がれば、従業員の励みになるということです。また、うちの会社は毎年優秀店や優秀社員を表彰しています。優秀店には10万円、優秀社員には2万円の金一封も出ます。私の店が優秀店に選ばれたときは、その金一封で祝賀会をやりました。足が出ました。祝賀会に参加者からおカネを徴集するわけにもいかず、私のポケットマネーで穴埋めをしました」(中部・G店長)

ホール業界は厳しい時代を迎え、大幅な賃上げは期待できませんが、昇格すれば昇給することは間違いありません。さらに高みを目指して頑張ってください。